

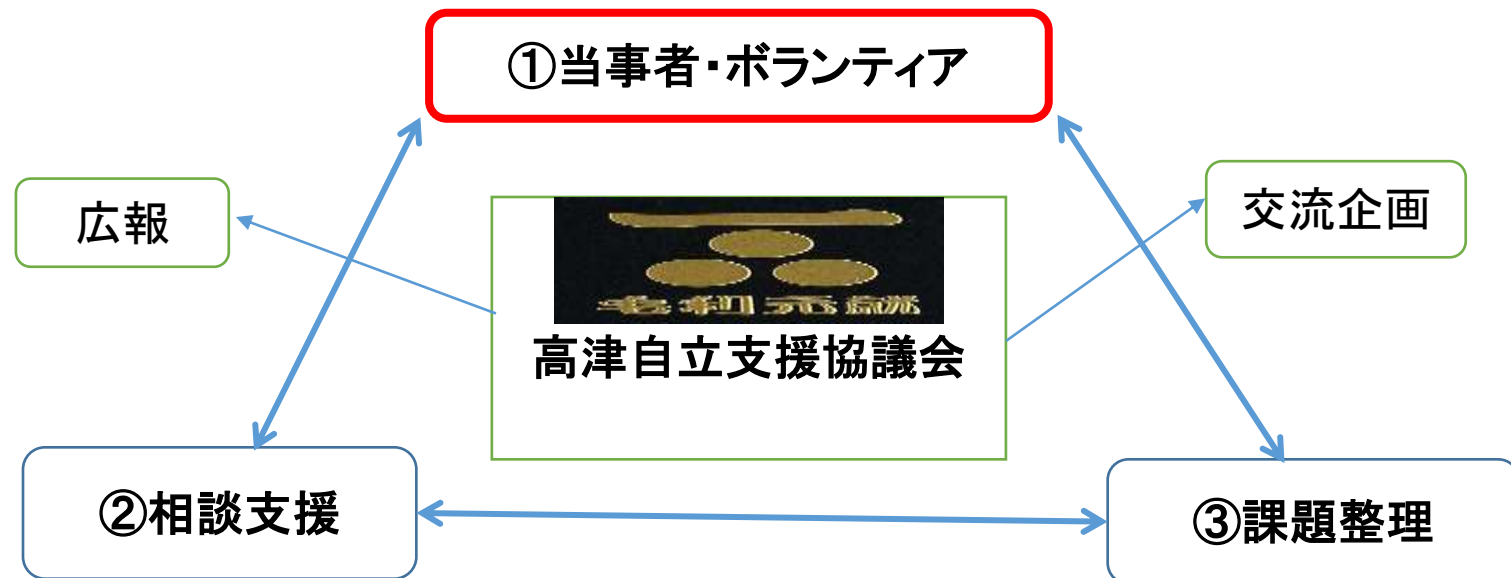
# 高津区3本の矢作戦Ⅳ

～5年でこんなまちにしたい 今年は夢から実行へ～



平成26年10月29日  
高津区地域自立支援協議会

# 3つの委員会の繋がり、5年後のイメージ



例題)ヘルパーが不足・使いたい日につかえない。

【こんな感じになるといいなあ】

②で出てきた課題を⇒③へ

③では施策や仕組みの課題は市協議会、制度で届かない「ちょとこまった時だけお助け隊」が地域の中でできないか？⇒①

①で地域の中で同じ問題意識、何かやりたい人と課題を繋げないか？

ボランティア育成委員会は5年後に

「地域に住む誰もが、自由に集える場」

作りを目指しています！



障害があっても無くても、

「高津区で暮らす人々が、**自分の経験を**

**地域で** 『ちょっとしたお手伝い』として **活かせるところ**」

その活動の中で、誰もが暮らしやすい地域とは？を同じ

テーブルで議論できるような場所にしたい。

「制度に無いけど、ちょっとした手助けがあったら、もっと暮らしやすくなるのに～」という声にお応えできるように・・・

## これまでの経過

### 目標

- \* ボランティア育成を打ち出し、ボランティア育成専門グループを置く。  
「ボランティアセンター(仮称)」を目指す。



### 1・2年目

⇒ 「当事者やその家族などが自由に集える場」

- \* ボランティア講座(社協と共催)を開催。ボランティア団体への訪問。
- \* 「制度にない、ちょっとした助けがあったら」の声あり。聞き取り等始める。

### 3年目

障害の有無に関わらず「自分の経験を活かせる場」の**具体的な策定**

- \* 具体的な仕組みの設定 → 『ちょっとしたお手伝い』を無理なく、できる時に。
- \* 「エンゼルランプ」に参画を依頼し共に検討
- \* 仕組み、予算等の検討。それらの文書(案)を作成。

# 検討事項の試行へ向けた取り組みの開始

ボランティア交流会(地活を利用)を開催、関係づくり

先駆的事業所(陽だまり)への見学

牧岡英夫氏との意見交換

ボランティア団体への聞き取り・声かけ

**場所が先か機能が先か？の議論となり**

まずは、動きを作るため、無理の少ないイベントなどの参加から始める準備をしている。



# 課題整理委員会

## 5年後の目標

【地域の課題1つを解消し、解決へのルートを1本つくる】

## 過去3年間の経過

### <1年目>

- 「区で出た課題整理票」の整理・検討・優先順位を決める作業
  - \* ヘルパーの課題の多さから、次年度の重点項目に挙げる

### <2年目>

- ヘルパー事業所聞き取り訪問実施と課題の整理(KJ法)

課題の中で 区で取り組める事として、ヘルパー事業所へ「出前出張講座」の検討

### <3年目>

- ◆ 出前講座講義内容の精査とチラシ作成など、実行への諸調整
- ◆ 課題表提出以外にも地域課題を拾う範囲の拡大(協議会・サー調会議、調整会議)
- ◆ 課題の区でのフィードバックへの試行錯誤(項目ごとにまとめ、問題点を整理)

# 4年目（今年度）

## ○出前講座実行

- ヘルパー事業所ではないが、「相談支援事業について」の講義依頼があり実行。  
※出前講座で使用予定の教材を利用
- 実際講義を行ったフィードバックから新たな講義演目を追加、修正中。
- チラシを作成し、ケアマネ連絡会等で配布。
- 訪問調査を実施したヘルパー事業所へ調査のフィードバックと出前講座情報提供

## ○区内でのフィードバックの強化・実行

- ◆ 課題を全体で共有化するために、区協議会でグループワーク実施（定期的開催予定）

※昨年は課題整理委員会から、課題まとめと論点をまとめた表を作成したが、今年度は対話を行い、課題を区の現場レベルで練り上げる段階への進めていく。

# 5年目の向けての取り組み

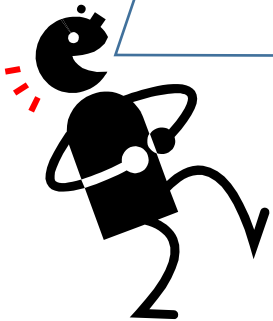
## <5年目への二つの柱>

①区で練り上げた課題を市へのボトムアップするための取り組み。

②区で取り組める事の継続実行と強化、拡大。

①・②を行いながら、

**【地域課題をとにかく一つ解決する形を作る】**

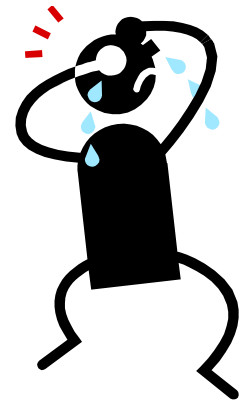




# 相談支援委員会

## 3年目の報告(H25)

- ・ライフステージに焦点を当てた困りがちな課題を整理し、支援ブックを作成していった。
- ・次年度上半期までに素案を作成し、実用性をチェックしていく。
- ・課題整理委員会との連動を意識した、**出前講座における相談支援体制について、レクチャーを担当。**



## 4年目(今年度)の現状

- ・6月に支援ブックの素案が完成。  
全体会メンバーへ配布し、1か月の期間を設けて  
実用性のチェックを行った。
- ・上記チェックにより頂いた意見を反映し、9月全体会にて  
高津区支援ブックの完成版を配布した。

今後は、適時現状に見合うブックに修正をしていく。



# 交流企画 係

**【4年の協議会活動の中で様々な所と“繋がる”ニーズが見えてきたために発足】**

## 交流企画係

目的・ ・福祉、教育、地域の連携を図り、当事者の方たちの思いを地域に発信する。

内容・ ・他機関と交流しながら行う企画の立案、準備

★ケアマネ連絡会との交流会（9月12日）

★地域づくりについての講演会

（講師 牧岡英夫先生 9月30日）

★まちづくり協議会に参加。防災対策や災害弱者について考える企画を計画中（12月、1月に実施予定）

★防災について、当事者に話を聞く会を実施（9月、10月）

# 広報係

【4年の協議会活動の中で地域の中で相談支援の周知がなされていない課題を解決するためのグループ】

- ☆市の自立支援協議会ホームページの高津区の作成
- ☆今後の相談支援の周知についての方法を検討

## 高津区協議会が考える「当事者参加」とは

地域の生活者として、「自分のできることで参加する」

26年度は



(イベント参加・手伝い): ボランティア育成委員会を中心に

(防災意見交流会など): 交流企画係を中心に

呼びかけして 繰り返し 参加の「場」づくり

常連さんも含めて新たな参加者も加わりやすい自由な雰囲気

## 高津区3本の矢作戦Ⅳ



生活のしづらさを抱えている人の経験や体験が、高津区に住む人に還元され、少しでも暮らしやすい街になり、当事者・支援者の垣根を越え、地域づくりをしたい人が集い、その声がかさねられる街にしたい

そのための1つのルートを来年（5年目）までに実現する。